

学生と教員の協働によるオンライン授業の工夫点の調査

鈴木 裕、佐藤 友香、鈴木 一克、森澤 正之、日永 龍彦、埴 雅典

山梨大学 教育国際化推進機構大学教育センター

1 はじめに

山梨大学では大学教育センター教育改善部門内に有志学生メンバによる教育改善プロジェクト(EIP)を組織している。これまでも学生の意見を反映し、夜間教室開放など様々なことを実現してきた。本取組みでは新型コロナウイルス蔓延防止を目的に実施されているオンライン授業の高度化を目指し、EIPメンバが受講学生・授業担当教員と協働して学生視点から効果的と考えるオンライン授業(先駆的オンライン授業)の実施方法を探った。本稿ではこの活動の詳細を報告する。

2 方法

2.1 先駆的オンライン授業アンケートの実施

令和3年7月10日から21日にかけて Google Form により「オンライン授業を受けた中で、内容を理解しやすいように、また学んだことを定着するために上手く工夫されていたと感じた」授業の情報収集を目的に山梨大学学生を対象としてアンケート調査を行い、先駆的オンライン授業を抽出した。

2.2 先駆的オンライン授業意見交換会

アンケートにより抽出された科目について EIPメンバをファシリテータとし、受講学生6名程度と授業担当教員による特定の授業回についての意見交換会を実施した。会の次第を以下に示す。なお、学生の自由な発言を阻害しないために⑤以降、教員は退室した。

- ① 趣旨と流れの説明 (EIPメンバ)
- ② 自己紹介
- ③ シラバスの紹介 (担当教員)
- ④ ある授業回の内容・方法の紹介 (担当教員)
- ⑤ 受講学生からの授業に関する具体的な感想
- ⑥ 学生アンケート開示、ディスカッション
- ⑦ まとめ (EIP)

3 結果

3.1 オンライン授業アンケート結果

628件の回答が得られた。その授業を選んだ理由は複数選択可であり、上位の理由と回答者数に占める割合は、「主体的に学ぼうという気になる」38.8%、「聞くだけの授業ではない」32.1%、「学生の理解度を考慮して授業を進めている」30.1%であった。

3.2 先駆的オンライン授業意見交換会

本稿執筆時点までに意見交換会は3回実施された。以下、各々の授業において学生が特徴と評価した点の中で代表的なものについて記す。

第二外国語共通教育科目 (オンラインライブ):

- ・ ブレイクアウトセッション+ペアワーク
- ・ 教員、学生すべてカメラを ON
- ・ 全員が必ず教員に当てられ質問される

数学共通科目 (オンデマンド):

- ・ 学習用動画の配信
- ・ 受講者の理解を促すためのコラム動画
- ・ 身近な題材を用いた実験動画「スナック菓子の長さで統計学を学ぼう」

工学部専門科目 (反転学習+オンラインライブ):

- ・ 事前学習用動画の配信
- ・ 事前学習用動画に基づいた予習テスト
- ・ ブレイクアウトセッション+Jamboard

意見交換会より得られた学生視点からの評価では、集中を保つことができる点と自発性が促される点が授業の理解度の深まりに繋がることが挙げられた。科目の特性にあわせて様々なオンライン授業の形態が望ましいと考えられるが、上述の授業の特徴は現時点で考えられるオンライン授業の工夫点の好例であると言える。一方で特徴に挙げられた部分をポジティブではなくネガティブに感じたという意見もあった。例えば、カメラを ON にすることが望ましくない、Jamboard の書込みが不慣れなために他の学生との呼吸が合わない、といった点である。ポジティブな意見もネガティブな意見も学生視点で調査する本取組みは、オンライン授業の高度化を図る上で有効であると言える。

4 おわりに

オンライン授業の高度化を目指し、学生アンケートをもとに先駆的オンライン授業の意見交換会により特徴を調査した。授業のどのような工夫点が学生から高い評価が得られたのかを明らかにした。このような調査に基づく高評価の事例を学内での教育に関する教員表彰の候補とするなどして的確に公表することで、事例の共有を図るとともに、学内の全教員のオンライン授業実施技能の向上に役立てられることが考えられる。

謝辞

EIPメンバの尽力に感謝する。